

室内発生源	汚染物質	発生源および毒性
タバコの煙、ガスコンロ、石油ストーブ	浮遊粉じん	部屋の中ではタバコが主な発生源です。空気中を浮遊し、非喫煙者の肺の中にも取り込まれ、その中には、ニコチンや発性ガン物質といわれるベンツピレンなどが混っています。
	一酸化炭素 (CO)	一酸化炭素は、タバコの煙や、炭素含有物の不完全燃焼によって発生します。血液中へのヘモグロビンと強く結合し、酸素運搬の働きを防げます。高濃度 (1500ppm以上) の場合には、人命をも奪う中毒事故になります。
	窒素酸化物 (NOx)	主に燃料中の窒素化合物や空気中の窒素が燃焼の時に酸素と結合してできる物質です。人体への影響はぜんそくや、慢性気管支炎の原因にも関係があるといわれ最近その毒性が注目されています。
	イオウ酸化物 (SOx)	石油や石炭の燃焼で発生します。窒素酸化物と同様、呼吸器系刺激作用および障害作用があります。
	二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	人の呼気中にも含まれています。ふつう換気の指標として使われます。
家 具 カーペット	ホルムアルデヒド (HCHO)	室内では断熱材のポリウレタンフォーム、合板、カーペット、家具類等から発生します。人体への影響は、目、鼻、のどの痛み、皮膚炎、頭痛、嘔吐などで、アメリカで発ガン性ありとの報告もでています。